

部活動指導に関する実態調査（生徒・保護者対象）

－ 調査結果の概要 －

1 実態調査の概要

調査目的	第5号案件調査報告書の提言を受け、部活動における不適切な指導の実態を把握		
調査対象	県立高等学校・県立中等教育学校後期課程の部活動経験者及びその保護者		
調査期間	令和8年 5月20日～6月10日	調査方法	無記名・オンライン（Googleフォーム）
回答数（回答率）	生徒：17,251人（73.4%） 保護者：13,554人（57.7%） ※対象生徒数：約23,500人		

2 調査結果

① 不適切な指導を受けた・ 見聞きした経験 受けたことがある 見たり聞いたり したことがある 259人 (1.5%) 391人 (2.3%) ※それぞれの回答者数に対する割合	② 不適切な指導の内容（上位） ※複数選択可 【生徒（受けたことがある）n=259】 ① 執拗な叱責 45.6% ② 暴言 41.7% ③ 無視・排除 28.6% 【保護者（子どもが受けたことがある）n=352】 ① 暴言 46.6% ② 執拗な叱責 40.6% ③ その他ハラスメント等 24.7% ④ 無視・排除 23.3%	③ 不適切な指導を受けた影響 （上位3つ）※「受けたことがある」259人が回答 ① 部活動に行きたくなくなった 65.6% ② 心が不安定になった （落ち込む、不安になる等） 42.1% ③ 強い不安や恐怖を感じた 30.9%
④ 不適切な指導を受けたことを 相談した生徒 「受けたことがある」259人のうち、 相談したと回答した割合 60.2% (156人)	⑤ 不適切な指導を受けたことの 相談相手（上位4つ） ※「受けたことがある」259人のうち、 相談した156人が回答（複数選択可） ① 家族 77.6% ② 友人 76.9% ③ 学校の先生 30.8% ④ スクールカウンセラー 5.8%	⑥ 試合に勝ったり、記録を伸ばしたり するためには、不適切と感じる指導を 我慢すべきだと思うか 生徒（n=17,251） 「我慢すべき」「どちらかといえば我慢すべき」 と回答している生徒 28.6% 保護者（n=13,554） 「我慢すべき」「どちらかといえば我慢すべき」 と回答している保護者 10.5%

【相談しなかった理由（上位3つ）】 ※「受けたことがある」259人のうち、相談しなかった103人が回答（複数選択可）

- ・ 相談する必要性を感じなかった
- ・ 相談しても改善につながらなかった
- ・ 相談しづらかった

上記の回答が多く、その他にも、声を上げることへの不安や、相談しても変わらないと感じている生徒が多い状況となっている。

3 調査結果から見た課題

① 生徒及び保護者が 不適切と感じる指導が 行われている実態が あること	② 不適切な指導の内容は、 顧問の発言や態度による ものが多いということ	③ 生徒は相談先として 学校を選択しない場合が 多いということ その理由は、改善が期待 できないことや相談しづらさ によるものであること	④ 競技力向上のためには 不適切な指導を我慢すべき と考えている生徒・保護者が 一定数存在すること
---	---	---	--

※割合は四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。